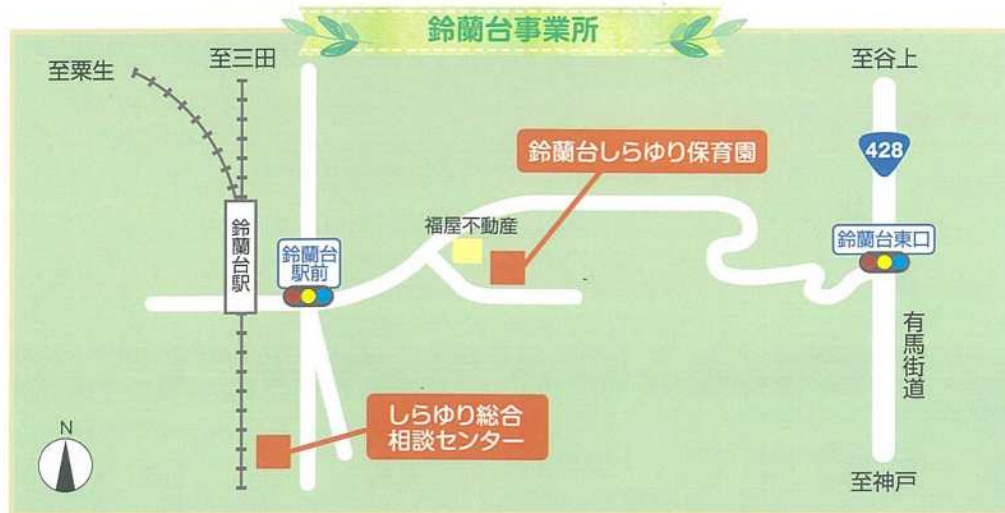


アクセス マップ



社会福祉法人 白百合学園



総合施設案内

- アリス・エリザベス・ホーム ■エリザベス・グレイスホーム
- グイン・ホーム ■しらゆりホーム ■鈴蘭台しらゆり保育園
- しらゆりフレンドリークラブ ■しらゆりフレンドリークラブひがしなだ
- 児童家庭支援センターしらゆり ■指定相談支援事業所しらゆり

ホームページ



基本方針

父と母が安心して我が息子・娘を託せる施設でありたい。
人格を持つ人が生活しているホームであることを決して忘れてはならない。

この施設に入所されている人が、人として幸せを感じられる豊かな生活づくりを基本の目標とする。

この認識の上に重要なことは、美意識は日常的には個人の価値基準を意味する。

しかし、美という概念は単に見た目に美しい・きれいなものばかりではなく、

内面の良い物をも含まれている。

それは、うまいもの・ほめる・励ます・慰める・真実なものを受け止め、
理解する事々が美の概念として理解されてきた。我々が施設を運営するという事は、
他人様のお子様を美意識という枠組みの中に温かく包んで
お世話させていただくことなのである。

生活支援要項

- 便・尿の失敗は決して叱ったり、嫌な顔及びきつい言葉等は決してしてはならない。快く処理すること。すぐにお風呂にてシャワーで清潔にしてさしあげること。
- 朝・夕の掃除(お便所はもちろん)は必ずしてさしあげること。
- 洗濯は必ずしてさしあげること。
- ベッドメイキングは必ずしてさしあげること。お布団は必ず1週間に1回は干すこと。
- お風呂は365日必ず入浴していただくこと(体調に気をつけて)。
- 入浴後は必ず冷たい飲み物をさしあげること。
- 服装について《男子はスキットしたのもの、女子はオシャレ感覚》を用意してさしあげること。
- 食事は決して恥ずかしくないメニューを必ず提供してさしあげること。
- 食器は温かい料理には必ず適宜に温めてさしあげること。
- 料理は温かいものは温かい状態でお出しすること。
- おやつは必ず十分にお出すること。
- デザートはいろいろあるが、アイスクリーム又はシャーベットが余分に供されるようにしてさしあげること。
- コーヒーはインスタントも美味なるも原則としてドリップのコーヒーを提供してさしあげること。
- 足の先及び手のひら、そして関節は必ず1日1回暖めてさしあげること。
- 春夏秋冬及び週末に強制的に実家に帰してはならぬこと。
- 施設の表裏の清掃を必ず点検しきれいにしておくこと。施設内のインテリアにも必ず心配ること。
- 日常生活の中で音楽を大切に、又、良いテレビ・ビデオを用意してさしあげること。
- 手と目を中心とした日課及び歩行による外出の日課等を中心として展開すること。
- グループに分けて、年に2回の旅行を必ず実施してさしあげること。



社会福祉法人 白百合学園

〒651-1144 神戸市北区大脇台 12-1
TEL 078-594-7751 / FAX 078-594-7800
メールアドレス Contact@shirayuri-gakuen.or.jp
ホームページ https://www.shirayuri-gakuen.or.jp/

障害者支援施設 アリス・エリザベス・ホーム

〒651-1101 神戸市北区山田町小部字東山 53-14
TEL 078-591-7768 / FAX 078-593-0023
メールアドレス Alice@shirayuri-gakuen.or.jp

- 施設入所支援 ●生活介護 ●生活訓練
- 就労継続支援B型 ●短期入所 ●日中一時

共同生活援助 エリザベス・グレイスホーム

〒651-1101 神戸市北区山田町小部字東山 53-14
TEL 078-591-7768 / FAX 078-593-0023

- 共同生活援助

児童養護施設 グイン・ホーム

〒651-1144 神戸市北区大脇台 12-1
TEL 078-593-6667 / FAX 078-594-1726
メールアドレス Gwin-home@shirayuri-gakuen.or.jp

- 児童養護施設 ●子育てリフレッシュステイ
- 里親のレスパイト・ケア

児童心理治療施設 しらゆりホーム

〒651-1144 神戸市北区大脇台 12-1
TEL 078-593-6637 / FAX 078-593-6632
メールアドレス Shirayuri-home@shirayuri-gakuen.or.jp

- 児童心理治療施設

児童発達支援センター しらゆりフレンドリークラブ

〒651-1144 神戸市北区大脇台 12-1
TEL 078-594-7788 / FAX 078-594-7800
メールアドレス FriendlyK@shirayuri-gakuen.or.jp

- 児童発達支援 ●放課後等ディサービス

児童発達支援センター しらゆりフレンドリークラブひがしなだ

〒658-0081 神戸市東灘区田中町 4-5-10
TEL 078-441-7288 / FAX 078-441-7305
メールアドレス FriendlyH@shirayuri-gakuen.or.jp

- 児童発達支援 ●放課後等ディサービス
- 生活介護 ●短期入所 ●日中一時

鈴蘭台しらゆり保育園

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 5-8-16
TEL 078-594-4150 / FAX 078-594-7575
メールアドレス Hoikuen-SS@shirayuri-gakuen.or.jp

- 保育所

しらゆり総合相談センター

児童家庭支援センターしらゆり

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 1-8-16
TEL 078-594-7785 / FAX 078-594-7710
メールアドレス Jikasen@shirayuri-gakuen.or.jp

指定相談支援事業所しらゆり

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 1-8-16
TEL 078-904-7111 / FAX 078-594-7710
メールアドレス Soudan@shirayuri-gakuen.or.jp

- 特定相談支援 ●障害児相談支援



社会福祉法人 白百合学園の変遷

(1960年) 昭和35年 5月	神戸市家庭養護第1号の指定を受ける	(1985年) 昭和60年 5月	精神薄弱者更生施設中辺路白百合学園設立	(2006年) 平成18年 10月	生活介護事業・就労継続支援(B型)事業・短期入所事業開始・日中一時支援事業・共同生活介護事業開始	(2013年) 平成25年 7月	児童発達支援センター・生活介護・短期入所・日中一時支援事業開始
(1967年) 昭和42年 5月	社会福祉法人グイン・ホーム認可 虚弱児施設グイン・ホーム設立	(1991年) 平成 3年 4月	精神薄弱者ディサービス事業及び短期入所事業開始	(2007年) 平成19年 4月	アリス・エリザベス・ホーム竣工 児童ディサービス事業開始	(2014年) 平成26年 10月	白百合学園とグイン・ホーム法人合併
(1971年) 昭和46年 10月	社会福祉法人白百合学園認可	(1992年) 平成 4年 4月	精神薄弱者地域生活支援事業開始	(2008年) 平成20年 4月	障害者支援施設アリス・エリザベス・ホームに改称 自立訓練事業開始	(2015年) 平成27年 4月	情緒障害児短期治療施設 しらゆりホーム事業開始 指定相談支援事業開始
(1972年) 昭和47年 4月	精神薄弱児通園施設白百合学園設立			(2012年) 平成24年 11月	児童発達支援センター しらゆりフレンドリークラブ事業開始	(2016年) 平成28年 4月	児童家庭支援センターしらゆり開設
(1976年) 昭和51年 4月	神戸障害児療育研究所併設			(2013年) 平成25年 7月	しらゆりフレンドリークラブひがしなだ開設	(2019年) 平成31年 4月	児童福祉施設 鈴蘭台しらゆり保育園開設
(1980年) 昭和55年 5月	精神薄弱者更生施設 アリス・エリザベス・ホームに施設変更					(2021年) 令和 3年 2月	しらゆり総合相談センター開設
(1984年) 昭和59年 4月	グイン・ホーム移転						
	9月 社会福祉法人中辺路白百合学園認可	(2005年) 平成17年 7月	児童短期入所事業開始				

グイン・ホーム 児童養護施設



心豊かで健やかな発達を保障し、自立を支援しています。

児童養護施設

児童養護施設は、様々な理由により家庭で暮らせない子どもを預かって養育する施設で、2歳から18歳までが対象となります。家庭的な環境の中で生活を行いながら、子どもたちの幸せと心豊かで健やかな発達、そして将来の家庭復帰や自立に向けて支援を行っています。また、退所後も相談その他の支援を行います。

グイン・ホーム

ホームは5人または6人単位での生活となっており、その中で様々な経験を重ねられるようにしています。

「集団の中の個の確立」「最大限の自由と最小限の規律」を2本の柱とし、子どもたち一人ひとりに寄り添いながらそれぞれに合わせて支援を行っています。

家庭への支援や里親養育支援にも力を入れています。また、地域への子育て支援として、子育てリフレッシュステイ事業、里親のレスパイト・ケア事業も行っています。



しらゆりホーム 児童心理治療施設

心の見つめ直し、自分探し、思いやりの心を養うことをめざします。

児童心理治療施設

対人関係や学習、不登校などさまざまな課題を抱え、日常生活を送るうえで支障を抱えている児童を対象に、心理・医療・福祉・教育の各分野のスタッフが連携しあいながら、生活の中で総合的な治療と支援を行い、育ちを支える施設です。

しらゆりホーム

入所する児童一人ひとりと克服すべき課題を話し合い、ともに解決・克服できるよう、職員が子どもたちに寄り添いながら、子どもたちの「変わろうとする力」「育とうとする力」を信じて連携し、子どもたちの育ちを支えています。

日々の豊かな楽しい生活の中での様々な体験が重ねられるよういろいろなプログラムを工夫しています。



児童家庭支援センターしらゆり

一人ひとりのお子さま・ご家庭にていねいに関わりたい…

児童家庭支援センターしらゆりでは次の事業を行っています。

- ①子どもに関する相談のうち、専門的な知識・技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行います。
- ②市町村の求めに応じ、家庭訪問や発達障害児支援のための職員派遣、教員研修への講師派遣などを行います。
- ③子ども家庭センターからの受託による、子どもや家庭への支援を行います。
- ④里親・ファミリーホームへの支援を行います。
- ⑤関係機関との会議・連絡会などに参加し、情報交換や連絡調整を行います。

● 家庭から

- 夜泣きがひどくて親がへとへと
- トイレトレーニング、食事…子育てのノウハウをききたい

● 幼稚園・保育園から

- きりかえができずパニック
- 指示が入らずいつもうろうろ

● 児童館・放課後デイから

- 他児・職員に暴力暴言
- 他児と遊べない
- 気になる保護者がいる

● 民生児童委員 子育てボランティアから

- 虐待が疑われる家がある
- 地域でどう見守れば

● 学校・幼稚園・保育園・行政から

- 個別支援計画のアドバイスがほしい
- 子育て講座の講師は？

児童家庭支援センター しらゆりの事業案内



- 1 電話相談 専門の相談員がご家庭の困りごとをお聴きします。
- 2 来所相談 カウンセリング・プレイセラピー（お子様のみ）箱庭療法等心理療法を行います。個別支援計画等ご家庭での療育のアドバイスも行います。
※予約必要
- 3 訪問相談 必要に応じてご家庭へ訪問させていただきます。
- 4 出張相談 学校・園・児童館・区役所等への出張もできます。個別相談・グループ相談・研修等、日時回数等ご相談ください。
- 5 ショートステイ 子育てリフレッシュステイ事業 児童養護施設グイン・ホーム 子育てリフレッシュステイ事業 随時

※①～④は相談は無料です ※⑤料金は神戸市規定に準じる